

イスラエル・ユダヤ・中東がわかる隔月刊雑誌

みるしす

No.180

2

2022

❖日本・イスラエル コラボレーションの道

イスラエルの医療イノベーションエコシステム

新井 均



❖サムエル記講話

ダビデの油注ぎ

ラビ・ベニー・ラウ



春の訪れを告げるアーモンド

見よ、レビの家のアロンの杖が芽を出し、つぼみをつけ、
花を咲かせ、アーモンドの実を結んだ。（民数記 17 章 23 節）

民主主義サミットと

岸田文雄首相の姿勢

米大統領主催民主主義サミット

Z君、私は米国のバイデン政権の外交に不安を覚えています。

2021年12月9〜10日、米国のバイデン大統領が主催する「民主主義サミット」がオンラインで行なわれました。

ヘイデン氏は演説で「世界各地に民主主義の花を咲かせる」と成果を称賛したが、共同声明などは

出されず、米国の専門家からは「学会の発表のようだ」と冷めた見方もでている。中国やロシアなどは強く反発し、招かれなかった国々の結束を促すリスクを指摘する声もある。

バイデン氏は111の国・地域の指導者を招待。当初からついていた批判は、強権的な指導者たちの招待だ。各国首脳のビデオメッセージでは、フィリピンのド

ウテルテ大統領も「(フィリピンでは)報道の自由、表現の自由は完全に享受されている」、ブラジルのボルソナーロ大統領も「世界中の民主主義を強化するためにブラジルは頼りになる」と胸を張った。(12月11日「朝日新聞デジタル」)

このサミットでさまざまな問題が露呈しました。米国は、中国、ロシア、イランなどを権威主義国



〔撮影：森清〕

佐藤 優

ガザ住民の就業を増やす

イスラエル

——ガザの現状とふくらむ期待

滝川義人

○ガザ住民の本音

年末から年始にかけて、ガザの動向を象徴する出来事が2つ起きた。

2022年1月1日(土)午前7時頃(現地時間)、ガザからロケット2発が飛来、テルアビブ南の沖合に着弾し、爆発した。まさに、安息の眠りをさます……である。今年も厄介な年になることを示唆するロケット発射であった。

昨年11月24日、そのガザでアルクードス・アルヨームTVが、ガザ住民とのインタビューを放映した。イスラエルでの就労を熱望する住民の話である。数例紹介しよう(MEM RI No.9206収録)。

住民A「彼らが受け入れてくれるなら、若者は全員イスラエルへ行くべきだ。ここガザには全然仕事がない。私も機会を得たら行きたい……」

ここでは住民はゴミを食っている」

住民B「ガザの外に働きに行くべきだ。住民にはそれがずっと良い。あちら(イスラエル)で1日400シエケル(1シエケル≒約36円)は稼げる。ここでは精々10〜15シエケルだ。ガザでは何の価値もない仕事を奪い合っている。何もすることがない」

住民C「イスラエルでの就労を支持する。取引業者としてイスラエルへ行っている人たちがいるが、実際はイスラエルで働く労働者だ。おかげで連中は、子供たちや家族を養うことができる。私はここ(ガザ)で、1日20シエケルの賃金で働いている。イスラエルでなら、1日300〜400シエケルは稼げる。ガザより格段に多い。1カ月の収入は実に大きい。それで家へ戻り、自分の将来が築ける」

住民D「当局が手筈を決めてくれ

イスラエル多角多論 47

宗教的シオニズム

そのイデオロギーの変遷

齋藤真言

ベネットへの抗議集会

昨年12月7日、テルアビブ中心部のハビマー広場である集会が開催された。4度にわたる総選挙の末に誕生したベネット&ラピッド政権に対する右派の抗議集会である。下野したリクード党や宗教的シオニズム会派を中心に、約2万人が集結した。中道左派が多数を占める世俗派の町テルアビブの中心街で、普段あまり見かけないニットキッパを被った

男性や髪を覆った女性など、多くの宗教家に参加した。

現政権はアラブ系のラアム党の支持を得て連立政権を樹立させたのだが、イスラム主義を標榜する政党がイスラエルの政権側につくのはイスラエル史上初で、この事態はユダヤ人国家としてのアイデンティティの危機だと主張するのが集会の趣旨である。ベネット首相は、右派の宗教的シオニズムの政治イデオロギーが、基盤の政党「ヤミーナ」の代表で、

イスラエルで初めて宗教家の首相となった。そのベネットに抗議しているのが、同じ会派の宗教的シオニズムの人々なのである。

ベネットは先の選挙戦で、アラブ政党や左派政党と組むことはないと言約を掲げていたにもかかわらず、労働党やメレツ党などの左派政党、さらにアラブ系のラアム党の支持を受けた連立政権へ参入した。ベネットを支持する宗教的シオニストたちから、「嘘偽りの不正な政権」と弾効の声が上がっているのである（ベネット首相の詳細に関しては2021年8月号参照）。

今回は、ベネット首相を頂点に、イスラエル国家の政治や安全保障分野などに多くの人材を輩出してきた宗教的シオニズムに焦点を当て、その歴史とイデオロギーの変遷を追ってみたい。

▼特別インタビュー▲

真の同盟への

ロードマップ

アブラハム・クーパー

(聞き手・徳留絹枝)

《INTERVIEW》

国交樹立70年の記念すべき年に

徳留絹枝 今年、日本とイスラエ

ルが国交を樹立してから70年という
大きな節目を迎えます。1948年

にユダヤ人は1900年ぶりに自ら
の国イスラエルを建国し、以後発展

を続けてきました。一方、同時期に

日本は第二次世界大戦に敗れ、混乱
した戦後を立て直していた最中でした。

そんな1952年にいち早く国
交を樹立したのが日本とイスラエル

です。21世紀の今日、両国はいずれ
も最先端技術を持つ民主主義国家と

して経済的にも大きな飛躍を遂げま
した。今後の両国の関係が進展して
いくために何が必要か、お話を伺い
たいと思います。

アブラハム・クーパー 私は、日本

人とユダヤ人との間で理解と友情を
深めるため、1980年代から何十

年にもわたって活動してきました。

その間何度も日本を訪れ、日本の政
府関係者に会い、駐日米国大使や駐

日イスラエル大使と会合を重ね、報
道関係者と話し合ってきました。日

本の人々にホロコーストやユダヤ人
の歴史、そしてイスラエルへの関心

と理解を深めてもらうためです。そ
して、この記念すべき年を大きな期
待をもって迎えました。

最近、私はある興味深い記事を

読みました(2022年1月12日付、

The New York Times)。それは、日本とイスラ
エルが、米国も含めて強力な同盟関

係を構築することを提案する内容で

した。これは両国が追求する価値の
ある素晴らしいビジョンです。

しかし私はあえて申し上げたいの
ですが、日本とイスラエルの同盟関

係を強化するにあたり、それを願う
人々を深く失望させてきた日本の対

イスラエルの医療イノベーション

エコシステム

新井 均

【編集部】イスラエルは0から1を生み出すのが得意で、日本は1を100にするのに長けていると言われる。この2つがタッグを組んだら最強の組み合わせになるだろう。本号から、イスラエルとのビジネスに長年携わってこられた新井均氏に、そのコラボレーションを探る上でヒントとなる話題を連載いただく。

注目度が高まるイスラエル

ここ数年、オープンイノベーションとDX（デジタルトランスフォーメー

ション）が進められる流れの中で、日本の産業界ではイスラエル企業・技術への注目度が高まっている。2020年10月時点で、イスラエルに拠点を置く日本企業は91社になり、日本からイスラエルへの投資も11億ドルに達した。田辺三菱製薬のニューロダーム買収、キャノンのプリーフカム買収、デンソーやSOMPOがイスラエルでラボを開設するなど、具体的な成果も数多く出ている。イスラエル側も日本からの投資をさらに呼び込むために、毎週のよ

うにセミナーやウェビナー（ネット上のセミナー）を開催し、イスラエル企業や投資機会の紹介に熱心だ。筆者は2007年からイスラエル企業と共に仕事をし、2014年からはイスラエル企業の日本市場参入を支援してきた。自らイスラエルの技術を利用し、共に開発を行ない、ビジネスを行なってきた。昨年は、

イスラエルのイノベーションの秘密がエリート教育にあると考え、東洋経済新報社より『世界のエリートはなぜ「イスラエル」に注目するのか』

サマリア人の現在

大貫康雄

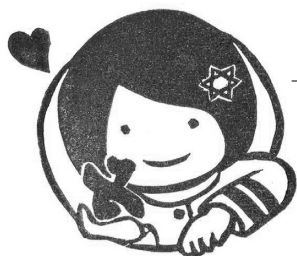
新約聖書に出てくる「良きサマリア人」は、キリスト教徒以外にもよく知られる物語である。イエスが律法の専門家と議論の中で、隣人は誰かという質問に答えて言及した例え話である。ルカによる福音書10・30～37を読んでみよう。

「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追い剥ぎに襲われた。追い剥ぎたちはその人の服を剥ぎ取り、殴りつけ、瀕死の状態にして逃げ去った。ある祭司がたまたま

その道を下って来たが、その人を見ると、反対側を通って行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、反対側を通って行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、その場所に来ると、その人を見て気の毒に思い、近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分の家畜に乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介

抱してください。費用がもつとかかったら、帰りがけに払います』。この三人の中で、誰が追い剥ぎに襲われた人の隣人になったと思うか」。律法の専門家は言った。「その人に憐れみをかけた人です」。イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい」（聖書協会共同訳）

アメリカではこの逸話から、「良きサマリア人の法」(Good Samaritan laws)が制定されている。災難に遭ったり急病になったりした人など、窮地に陥った人を救うために無償で



Q.28

「主の山に備えあり」？

スタンプアート：
〈ごっどもく〉
GOD MILK

みさとさんの素朴な疑問に、ヘブライ語のオゼル先生が答えるコーナー

ヘブライ語聖書対訳シリーズ『創世記 I』で創世記の原文を読んでいるみさとさん。今日の質問は何でしょうか。

みさと 創世記 22:8 で、アブラハムがイサクに答えた言葉「わたしの子よ、焼き尽くす献げ物の子羊はきつと神が備えてくださる」（新共同訳）で質問があります。対訳では「神が彼のために燔祭のための子羊を見る、私の子よ」（下参照）となっていて、ずいぶん違います。「見る」という動詞 **רָאָה** 〈イルエー〉には「備える」という意味もあるんですか。

オゼル先生 まず基本的なところをおさらいしておきましょう。問題の動詞 **רָאָה** 〈イルエー〉は **רָאָה** 〈ラアー〉の未完了3人称男性単数形で、主語は直前の「神 **אֱלֹהִים** 〈エロヒーム〉」だと考えられます。〈エロヒーム〉は文法的には男性名詞の複数形ですが、

聖書の神、**主**を意味する場合に単数の扱いになります（2018年10月号参照）。

そして本題ですが、**רָאָה** 〈ラアー〉の基本的な意味は「見る」です。そこから派生して「見つける、選ぶ」などの意味もありますが、「備える」という意味はありません。

み でも、日本語に訳されている聖書は、ほとんどが「備える」と訳しています。対訳の下の脚注でも「『備える』は意識」と書かれていますが、そもそもそういう意味がないなら、日本語訳聖書はどうしてこのような訳になったんでしょう。

先 難しい質問ですね……。原文から離れた訳になっていると思われる箇所では、注解や古代訳の影響を受けていることがあります。現存する最も古い翻訳聖書の1つで、当時の解釈を反映させているのはギリシア語の70人訳ですが、私の手元にある70人訳で

בְּנִי
ーニベ
よ子の私
尾・単男

לְעֹלָה
ーらおれ
のめたの祭燔
単女・前

הַשֶּׁה
ーセハ
を羊子
単男・冠

לוֹ
ーろ
にめたの彼
尾・前

רָאָה
ーエルイ
る見
単男3未バ

אֱלֹהִים
ムーヒロエ
が神
複男

創世記 22・8

ラピスラズリ

池田 裕

● ニュースの死角

中国の武漢で新型コロナウイルスの感染者が最初に発症したのは2019年12月1日。その3日後の12月4日、アフガニスタン東部で長い間地元住民のために働いてきた日本人医師、中村哲さんが作業現場に車で向かう途中、武装集団の襲撃に遭って倒れた。享年73歳であった。パキスタンでの貧しい人たちがアフガン難民たちの治療に始まった中村さんの活動は、2000年の大旱魃^{かんぱつ}と飢饉で多くの人が餓死していく様を目の当たりにしてからは、自ら進んで数多^{あまた}の井戸を掘り、さらに用水路をひく工事に全力を注ぐようになる。きれいな水が飲めて、食べ物が食べられるようになれば、ほとんどの病氣

はなくなるはずだ、山のように抗生物質を持っていても、根本的には解決しない、そう確信しての行動であった。

アフガニスタンは日本の国土の1・7倍の面積をもつ山の国。大半の国民が山あいを開ける狭い平野で農業を営む。国土を特徴づけているのは、ヒンズークシュ（最高峰7708m）の大山塊で、降雨面積は日本列島より広く、無数の支脈が集まり、北はアムダリヤ川の源流となり、東はインダス川の支流を成す。高山の万年雪が巨大な貯水槽の役目を果たし、川沿いの沃野を潤してきた。それが、近年の気候変動——日本もその影響で毎年異常なほどの集中豪雨に見舞われ大きな被害が出ている——で、急激な雪解けと集中豪雨が多発し、洪水と渇水が極端な形で同居するようになった。

ユダヤのチキンスープ

越出水月

ユダヤ人のソウルフード

ユダヤの代表料理と言えば最初に挙げられるのが、チキンスープだろう。ユダヤ新年に、過越し祭に、そして毎週の安息日に、世界中のユダヤ人が必ず食卓に並べる一品だ。透明なチキンスープには、きらきらと黄金の鶏の油脂が浮き、煮込まれてほろほろになった骨付き鶏肉と大ぶりに切られた人参、玉ねぎ、セロリ、トッピングにイタリアンパセリやデイルが

のる。ポトフのような、と想像しやすいだろうか。

過越し祭には、その時期だけの種無しパン「マツツア」の粉と卵で作ったふわふわのまんまるな団子「クネイダラフ」が浮き、新年にはラビオリのような「クレパラフ」、日常には短く折った卵麺の Pasta が入れられる。もちろん何も入らないシンブルなスープの時もある。なんだか日本のお雑煮のような、おでんのような、ほっと

こしで みづき ● フードコーディネーター。上智大学神学部卒業。2007年～08年ハイファ大学、ヘブライ大学留学。帰国後フードコーディネーターに師事。現在独立し、イスラエル他各国料理イベントを開催、ケータリングも行なっている。

安心する母の、そして祖母の味だ。と言ってもユダヤ料理にしては珍しく地域性はなく、どの家も秘密のレシピはあるけれど、いったってシンブルな一皿。その分ことごと煮込む時間とかけた手間が心と身体に沁みるのである。



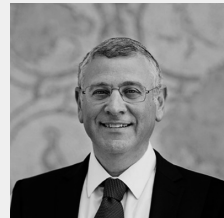
サムエル記講話

《サムエル記上16章》

ダビデの油注ぎ

ベニー・ラウ

(那須雄二訳)



הרב בני לאו

前章は、サムエルとサウルの別れのシーンで終わりました。

サムエルはラマに行き、サウルはギブアにある自分の家の上って行った。サムエルは死ぬ日まで再びサウルを見ることはなかった。サムエルはサウルのことで悲しみ、主はサウルをイスラエルの王としたことを悔やまれた。(サムエル記上15・34〜35)

サムエルは、死ぬ日まで再びサウルを見るのがなかったと記されていますが、サムエルの死後、サウルが霊媒の女に頼んでサムエルの霊を

呼び出してもらい、再会しています(サムエル記上28・11〜19)。しかし地上ではこれが最後の辛い別れとなりました。

サウルはこの後もイスラエルの王であり続けますが、自分が王であるのを神が嫌っていることを、サウル自身は知っていました。またサムエルは預言者であり続けますが、サウル王が世代を超えてイスラエルを救うために選ばれた者ではないことを知っていました。そしてここから物語は大きく展開していきます。

●サムエルの次の一步

16章は、ダビデが見出だされる瞬間を描いた物語です。ダビデが選ばれ、歴史の表舞台に登場してくる物語は、私たちを驚かせ非常に困惑させます。ダビデはどんな人なのか。なぜダビデが選ばれたのか。この物語の真相を探るには、多くの注意を払い、勇気を持って読み進めなければなりません

16章は、主がサムエルをユダのベツレヘムのエッサイのところ遣わすところから始まります。

サムエルはサウルの出身地である

キリエは「主よ」か

「ご主人様」か

藤原豊樹

○雑貨店での出来事

ギリシアの首都アテネ。市内のあちこちの喫茶店では、朝から夜遅くまで人々がコーヒーを飲みながら議論しています。私が留学に行った1976年頃は、喫茶店だけでなく、市内のどの店でも客と店員が店の商品のことなどについて議論を楽しんでいました。当時はまだスーパーマーケット

の数が非常に限られていて、買い物は雑貨屋で済ませていました。そこではギリシア語が分からない私も、議論の雰囲気巻き込まれてしまいます。

ある日、近くの雑貨屋に出かけました。店主は並べてある商品や店の自慢話を数名の客に延々としている様子でしたが、私の姿を見ると、すぐに彼が言いました。

「キリエ・ティ・セレテ（ご主人様、何が入り用でしょうか）」

一緒に行った友人が、ギリシア語を学び始めたばかりの私に訳してくれました。店主の言葉は丁寧ですが、高圧的な言い方が気になってその友人に尋ねました。

「何?! 『キリエ』は聖書では『主よ』の意味で、神様に向かって言う言葉だ。人間に対して使うものではないよね」

ところが友人は、なだめるようにして私に言いました。

「キリエは男性に対する呼びかけだよ。聖書の時代だけでなく、現代でも普通に使われているんだ」

○アドナイからキリオスに

キリエとはどういう意味なのか、辞書を引きつつ調べてみましょう。まず、*kyrie*（キリエ）の

ユダヤ教の独自性と

ラビ・ユダヤ教の成立

塩尻和子

● 「世界最古の宗教」なのか？

「ユダヤ教」は、よく言われるような世界最古の宗教ではない。歴史的事実としては、古代イスラエルの宗教という長い年月を生き延びて変遷を繰り返し、紀元200年から550年頃にかけて今日の形になった宗教である。つまり、古代イスラエルの宗教と、現代のユダヤ教は、同一

の宗教とは言えない。実際に現在のユダヤ教が成立したのは、キリスト教よりも新しい。この事実は一般には理解されにくく、ユダヤ教をめぐる誤解の源にもなっている。ユダヤ教自体も、現代のユダヤ教は古代イスラエルの宗教を受け継いでいると主張する。その一例として、ユダヤ暦では紀元前3760年に天地が創造されたとして、今日でも天地創造

紀元に西暦を加え、閏年で調整された暦が使われている。それによると、今年（2022年）は5782年になる。

族長のアブラハムが、ヤハウェと名乗る神だけを崇拜するとして、神と契約を結んだ時期、紀元前18世紀頃には、すでに世界には多くの「宗教」が存在していた。たとえば石器時代の葬送儀礼にみられる死者を悼む行動は、確実に宗教であるということができる。モーセがヘブライの民をエジプトから救い出した紀元前13世紀前後にも、エジプトには壮大な古代の宗教儀礼が存在していた。

しかし、注意するべき点は、多くの解説書にみられるように、このような誤解は単純に否定してしまうこともできない、難しい側面も持っているということがある。ヘブライ語聖書に記載された物語を、古い時代

中東の身だしなみ

「アイメイク」

光永光翼

目元への意識の高まり

コロナウイルスが世界に蔓延して2年が経ち、マスクは私たちの日々の必須アイテムとなった。マスクで顔が隠れてしまったため、最近ではメイクをしない女性が増えているという統計もある。完璧にメイクをしたところで顔の半分は見えないのと、マスクでメイクが崩れしてしまうのが理由らしい。そのため、コスメ業界全体の売り上げが激減しているという。

その一方で、マスクでは隠れない

眉と目のメイクが注目されるようになった。ネット上は、「マスク映えるアイメイクのコツ」などというサイトで溢れている。コロナによって、アイメイクが最も重要な身だしなみだと考える女性が増えているのだ。アイブロウやアイシャドウといったコスメ商品だけは売上増を記録し、前年比で300%を超える商品もあるという。顔の印象を決定づける目元への意識は、この2年で明らかに変

化している。

目元への意識という点については、中東やイスラム諸国に住む女性はコロナよりはるか以前から世界に先んじて重要視してきた。身体のほぼすべてが衣服で覆われ、辛うじて目と手だけを人に見せられるため、アイメイクは女性にとっての命なのだ。目元にくっきりとアイラインを引き、アイシャドウやマスカラを巧みに用いるメイクはもはや芸術と言える。つけまつけの種類も実に豊富である。

蒸留技術の発展

中東の女性はもともと目がパツチリしている人が多い。そこにさらに濃いめのアイメイクをするため、映画に出てくるクレオパトラを思い出させる仕上がりとなる。目の縁を強調し、尾を引くように

○ ギャラリー「イスラエルの風」が贈る今月の一枚 ○



「麗しのエルサレ」 撮影・平岡真一郎

エルサレムは東側のオリブ山から眺めるのが最も美しい。パノラマ写真などでよく見かける風景だが、実際ここに立ってみると「山々はエルサレムを囲み、主はその民を囲まれる」（詩編 125:2）という聖句が思い出され、3000年以上にわたって神に守られ愛されてきた町であることを実感する。

★手漉き和紙にプリントした、絵画のような独特な雰囲気をもつ作品です★

サイズ

36×45cm ⇨27,000円
46×57cm ⇨38,000円

制作元：ギャラリー「イスラエルの風」
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-18-24

お問合せは
ミルトスへ

シリーズ新巻

ヘブライ語聖書対訳シリーズ24

エレミヤ書Ⅱ

18〜35章

ミルトス・ヘブライ文化研究所 編

A5判・並製208頁 本体2800円(十税)



旧約聖書をヘブライ語原文から日本語に逐語訳する画期的シリーズの最新巻。どんな名訳でも伝わりにくい原典の微妙なニュアンスに触れることができる。

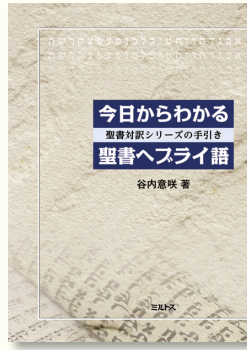
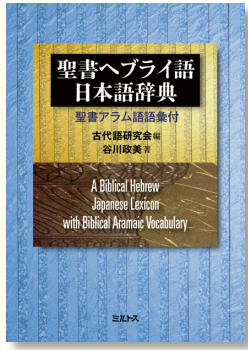
ヘブライ語で聖書を読むための辞典・入門書

聖書ヘブライ語 日本語辞典

聖書アラム語 語彙付き

谷川政美 著

A5判・並製1264頁 12,000円(+税)



今日からわかる 聖書ヘブライ語

聖書対訳シリーズの手引き

谷内意咲 著

A5判・並製112頁 1,700円(+税)